

ピースボート 地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2011-2012年度 活動報告書



はじめに

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MACの活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

2011年度から2012年度にかけて地雷除去募金「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」に多くの学校、団体、個人の方々からご支援をいただきました。集まった募金は現地地雷除去機関「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」に受け渡し、カンボジア北部プレアヴィヘア州スナハイ村で地雷除去が行われました。また、地雷被害者に対する支援にも力を入れています。

カンボジアでは1991年の和平合意後も多くの地雷が残されたままになり、人々は地雷被害と隣り合わせの生活を強いられ、戦後復興の妨げともなっています。P-MACでは地雷やクラスター爆弾、そして戦争のない世界をめざして活動を続けていきます。

今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

P-MAC設立経緯

1985年、ピースボートは初めてカンボジアを訪れました。その後何度かの訪問を経てカンボジアにおける地雷被害の深刻さを痛感します。当時、世界中の国々で地雷問題は危機的状況を迎え、「20分に1人」世界のどこかで地雷被害者が出ていました。なかでもカンボジアは、もっとも地雷問題が深刻な国の1つでした。町には手足を失った人々が行き交い、物乞いする人も多く見かけられました。医療体制の整っていない病院には、次々と被害者が運び込まれていました。そして地雷原で、命がけの地雷除去作業を行う人々にも出会いました。私たちは手や足を失いながらも必死に生きよとする地元の人々、安全な土地を取り戻そうと働く人々を支援し、地雷そのものに反対するためピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MACを立ち上げ、活動を開始しました。地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)にも加盟しています。



活動カレンダー

2011-2012年度P-MAC

2011 4

- 第72回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施
- 第73回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施

5

- スナハイ村公共施設のための地雷除去開始(カンボジア)
- 旅祭 WORLD JOURNEY FESTA '11にブース出展(東京)

7

- 第74回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施

9

- ふじみ野市立福岡中学校で地雷教室開催(埼玉)

10

- ワールド・コラボ・フェスタ2011にブース出展(愛知)
- カンボジアフェスティバル
〜“きょう”からつながるモイビーバイ!〜にブース出展(京都)

11

- スナハイ村公共施設のための地雷除去終了(カンボジア)
- 昭和町立常永小学校で地雷教室開催(山梨)

12

- カンボジア洪水被害を受けた地雷被害者への緊急支援(カンボジア)

2012 5

- 第76回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施

7

- スナハイ村再定住地のための地雷除去開始(カンボジア)
- NGOアンコール障がい者協会(AAD)がおこなう
障がい者への木工彫刻トレーニング(2011年7月～2012年6月)
への支援開始(カンボジア)

8

- 第77回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施

10

- ふじみ野市立福岡中学校で地雷教室開催(埼玉)
- 関西カンボジアネットワーク夏季報告会に参加(京都)
- ワールド・コラボ・フェスタ2012にブース出展(愛知)

12

- 第78回「地球一周の船旅」でカンボジア地雷問題検証ツアー実施
- スナハイ村再定住地のための地雷除去終了

2013 3

- 大田区立入新井第四小学校で地雷教室開催(東京)
- ハッピーアースディ大阪2013にブース出展(大阪)

※100円キャンペーン街頭募金を158回実施(2011年4月～2013年3月)



100円キャンペーン

カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン

2011-2012年度募金の支援報告

地雷除去には気の遠くなるような時間と労力がかかります。しかし、地雷除去にかかるコストは1平方メートルあたりおよそ100円。そこでP-MACでは、募金活動「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」を展開。集まった募金は現地地雷除去団体「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」へ送り、1998年から2012年末までに約137万平方メートルの土地から地雷が除去されました。2011-2012年度は、合計2,966,047円を100円キャンペーンで集めることができました。ご協力いただきましてありがとうございました。

2011-2012年度 100円キャンペーン募金報告

2011-2012年度の募金総額	¥ 2,966,047
2010年度より繰越	¥ 112,247
合計	¥ 3,078,294

[上記の募金は以下のプロジェクトに使用しました]

スナハイ村地雷除去	¥ 2,775,176
2013年度地雷除去支援へ繰越	¥ 303,118
合計	¥ 3,078,294

プレアヴィヘア州スナハイ村

カンボジア北部、タイ国境付近のプレアヴィヘア州は内戦中、大規模な戦闘地となりました。そのため人口の40%以上・約4万9千人が地雷被害と隣り合わせの生活を強いられています。

スナハイ村は内戦中の1986年から1989年まで政府軍の基地となりました。基地を守るために地雷を施設し、また政府軍とポル・ポト派の戦闘により多くの不発弾が残ったままとなっています。

2010年に集まった募金でスナハイ村の中心地にあるお寺と小学校、村人が水汲みをしている池周辺の地雷除去を行いました。スナハイ村への2回目の支援となる今回は、新たにこの村に定住することを希望している24家族分の家や田畑を作るための地雷除去でした。

◎報告

プロジェクト期間	2012年7月1日から2012年12月31日
支援金額	¥ 2,775,176
地雷除去結果	地雷除去面積 175,153平方メートル 対人地雷 21個 不発弾 98個



スナハイ村訪問報告 (2012年5月)

アンコールワットのある町・シェムリアップから1時間半、土煙をあげる道路を進みます。いくつかの小さな町を通り過ぎ、周辺は畑やジャングルばかりとなった頃、スナハイ村の看板が現れました。気をつけて見ていないと看板も村へ通じる脇道も見逃してしまうほどです。これまでの広い道路から左折すると、車一台がやっと通れるくらいのでこぼこ道にかかりました。所々には川のように水の中を進まないと通れない場所もあります。4WDのトラックに乗っていてもいつ止まるのかとひやひやしながら、8kmの道のりを45分かけて村に到着しました。

スナハイ村は2005年にできた新しい村です。土地を持たずに各地を転々として労働しながら貧しい生活をしてきた人々が、ここに誰も使っていない土地があることを知り、集まりました。村のうわさは口コミで広がり、2,000人が暮らす大きな村となりました。今も村の人口は増え続けています。

「これまでの生活と違って村では自分の土地で自給自足の生活をし、お金が必要な時だけ隣村の農場などで働いて現金を手に入れている」と村人は明るく語ってくれました。

村にはまだ公立の小学校がなく、4年前村人が自分達で学校をつくりました。公立小学校は授業料は無料ですが、ここは公立ではないため先生の派遣もないので、村人達が先生をしてくれる人を探してきてお金を払って教えてもらっています。1年と2年だけの学校で1年生を教えているのは20歳の青年です。高校を卒業しているので先生をして欲しいと頼まれてこの村にやってきました。

現在は120人が通っていますが、この村の子どもの半数以上は学校に通っていません。先生に授業料が払えないという理由と、狭い教室にぎゅうぎゅう詰めで座らなければならないからです。もうすぐP-MACが2011年に地雷除去支援した土地に公立の学校が建設される予定で、村人たちは学校が完成し、村の子どもたち全員が学校に通える日を心待ちにしています。

村人はこの土地の一部が地雷原だということは知らずにここにやってきました。彼らが耕している土地も安全が確認されていません。地雷除去団体CMAC (カンボジア地雷対策センター) の方の話では、人々が住んでいる地域でも安全が確認されていないところがあるということでした。今も村の人々は危険と隣り合わせで暮らしているのです。人々が希望を持って移住してきた新しい村で、事故が起こらないことを祈りながらも早急な地雷除去の必要性を感じました。



1998年から2011年までの支援実績



- a ポーサット州プテア・ルング村小学校 … 地雷除去と学校建設
- b ポーサット州ストエン・トメイ村小学校 … 地雷除去
- c ポーサット州チュンカ・チュレイ・チュング村保健所 … 地雷除去
- d バンテアイミンチェイ州オサンポール村小学校 … 地雷除去と学校建設
- e プレアヴィヘア州コーケー村小学校 … 地雷除去と学校建設
プレアヴィヘア州コーケー遺跡 … 地雷除去
プレアヴィヘア州コーケー村保健所 … 地雷除去と保健所建設
プレアヴィヘア州スラヨンチュング村 … 地雷除去
プレアヴィヘア州スナハイ村 … 地雷除去
- f シェムリアップ州クワオ地区小学校2校 … 地雷除去

以上の支援により137万平方メートル以上の土地から、297個の地雷と476個の不発弾が除去されました。

木工彫刻トレーニングプロジェクト



カンボジアでは人口の1-3%が障がい者だと言われています。多くが地雷や不発弾による被害者やポリオ(小児麻痺)患者です。障がい者となることでそれまでの仕事を失ったり、生まれつきの障がいのために学校へ通えないことで知識や技術を身につけることができずに仕事がないことから、多くの障がい者やその家族が貧困問題に直面しています。また、障がい者に対する差別も根強く残り、そのため引きこもりになるなど社会とのつながりを持つことも困難になっています。多くの障がい者を抱えるカンボジアですが、彼らに対する支援制度はまだ整っていません。

そこでP-MACでは障がい者の自立を支援するため、現地NGO「アンコール障がい者協会(AAD)」が行なう木工彫刻トレーニングの資金面でのサポートを行なっています。P-MACは2012年7月～2013年6月の1年間のトレーニングに6,570ドル(556,437円)を支援し、6人の障がい者が訓練生としてトレーニングを受けました。

AADは世界遺産アンコールワットがあることで有名な町・シェムリアップにあります。障がい者が彫刻技術を身につけ、お土産として売られる仏像や小物などの商品を製作することで収入を得られるようにします。彫刻技術のトレーニングだけでなく、住居の提供、彼らの子ども達への就学支援、収入を得るための教育などを行っています。彫刻技術を持つ障がい者が講師となり、また収入を得ることに成功した障がい者と話をする機会を作ることで貧困を抜け出した将来を考えられるよう、技術だけではなく精神面でのサポートも行なわれています。

アンコール障がい者協会 Angkor Association for the Disabled

内戦中、地雷被害に遭い両脚を失ったセム・ソワンタ氏が2003年に設立したNGOです。障がい者の差別と貧困のサイクルに終止符を打ち、経済的・精神的な自立を通してよりよい未来をつくるため活動しています。地雷被害者やポリオ患者が収入を得られるように技術支援や小ビジネスの立ち上げ支援、障がい者を親に持つ子どもたちへの就学支援、障がい者の人権回復のための活動を行なっています。

訓練生が作った木工彫刻アクセサリを販売しています

AADはP-MACの協力を得て、訓練生のつくるカンボジアの動物を模った木工彫刻アクセサリを販売し、その活動を支えています。それぞれの手作りアクセサリには地雷廃絶への思いを込めて爆破処理された地雷の破片が埋め込まれています。P-MACでもピースボート地球一周クルーズの船内やイベントなどでAAD支援のためにこれらのアクセサリの販売を行っています。ご購入希望の方はP-MAC(pmac@peaceboat.gr.jp)までご連絡ください。



カンボジア洪水被害 地雷被害者への緊急支援

カンボジアでは2011年8月から約2ヶ月間、洪水が発生。全国で200人以上が死亡、20万戸と40万ヘクタールの水田が被災しました。被害が大きかったシムリアップ州では多くの農民が被災し、これまで育ててきた農作物が収穫できずに食糧不足に陥りました。P-MACではピースボートのクルーズで支援金を集め、シムリアップ州で農業を営む地雷被害者50とその家族に対して、1か月分の食料や野菜の種などを緊急支援しました。

◎報告

支援対象者	地雷被害者50人とその家族
支援金額	¥ 226,684
1家族への支援内容	米 50Kg 魚の缶詰12個 調味料 野菜の種



コーケー小学校の不発弾 爆破事故

P-MACが2005年に地雷除去と小学校建設支援を行い、その後も訪問や支援を続けているコーケー村のコーケー小学校（ブレアヴィヘア州）で2012年3月1日、不発弾による事故が発生しました。

1人の男の子が森で小さな鉄の塊を拾って、学校に持ってきました。授業が始まる前の教室で、その鉄の塊で遊んでいた子どもたちが机にそれを投げた瞬間、爆発しました。子どもたちが遊んでいたものは、弾頭でした。爆発で11人の子どもが怪我を負い、そのうち3人は重症でした。数ヶ月後には全員回復して学校に通えるようになりました。先生や大人たちは地雷や不発弾の危険性を日ごろから子どもたちに教え、不発弾がどのような形をしているか模型を使って教える地雷・不発弾回避教育が行なわれていますが、今回は明らかに不発弾とわかるものではなく、小さな弾頭だったため子ども達も危険なものとはわからなかったと思われます。今も教室の机には爆発した際にできた穴が残っています。

P-MACが地雷除去支援を行い小学校や村の一部は安全な土地になりましたが、まだ周辺には地雷原が残っています。カンボジアでは被害者の数は減少傾向にありますが、現在も200名以上が被害に遭っています。早急な地雷除去と地雷回避教育の徹底が重要だと改めて思われました。





カンボジアから地雷をなくそう!!
100円キャンペーンにご協力ください

郵便振替口座	00130-3-557600
ゆうちょ銀行	019店 / 当座0557600
加入者名	ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

「なんだろう地雷出前教室」
出前先募集中!!

P-MACで活動するスタッフが、地雷問題についてわかりやすく出前授業します。地雷原に暮らす人々、地雷被害者、除去活動をする人々の声、そして今私たちにできることをお伝えします。これまで小学校、大学、地域の公民館、職場など、様々な場所で行っています。ご依頼、ご質問はピースボートまでご連絡ください。

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC
2011-2012年度活動報告書

発行 ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC
編集 森田 幸子
発行日 2013年7月
写真 内田 和穂・ピースボート

[この刊行物に関するお問い合わせは下記までお願いいたします]

ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL 03-3363-7561
FAX 03-3363-7562
E-MAIL pmac@peaceboat.gr.jp
URL <http://www.peaceboat.org/projects/pmac/>